

5 【地域や時代背景】

DX・IT化に伴いデジタル人材への注目度が年々高まっており、デジタル人材は業界を問わず多くの企業で求められています。しかし、今現在このデジタル人材の需要に対しての供給が不足しています。社会もデジタル人材の育成に動いていますがその対象は社会人に向けてのものが多く、学生に向けての動きもまだ始まったばかりで多くありません。この地域の学生においても情報活用能力を学ぶ一環としてプログラミング教育が始まりましたが、学校教育だけでは急務とされているデジタル人材育成の場が足りていません。また、デジタル人材という言葉や存在すらも学生に浸透していないのが現状です。今後DX・IT化を取り入れて発展していく地域企業においてもこのデジタル人材は必要な存在だと言えます。

15 【背景から事業を行う目的】

デジタル人材は必要とされる人材となっており、そこに目を向けてもらう事で将来の職業の選択肢を新たに見つけて欲しいと考えています。

私たち希望の教育委員会は地域の学生に向けてデジタル人材の存在や必要性を学ぶ場とそこに近づくための技術を体験する事業を構築します。多くの学生にこのデジタル人材という存在を認知してもらい、新たな進路選択のひとつとして将来の方向性を考えるきっかけ作りを行います。

【事業の内容】

4月例会では、プログラミング体験を通じてデジタル人材の基礎知識や必要とされている背景、関連するデジタルリテラシーについて学ぶことのできる事業を構築します。

8月例会では、デジタル人材に必要なデジタル技術を体験してもらい、関連する職業や仕事内容、必要な資格等を学び、デジタル技術を活用してこれからの社会がどのように変化していくのかという発想力を養う事業を構築します。

【事業の結果】

地域の学生には必要とされているデジタル人材の存在を知ることにより今までは知らなかった職業や仕事、それらに必要な知識を知ることによって進路選択の幅を広げる事や将来像をイメージするきっかけになると考えます。これからのデジタル社会を生き抜くための必要な知識のひとつとして役立つと言えます。将来この地域においてもDX・IT化を考えている企業に必要な人材を育成し、地域経済が発展していく基盤を作ります。

メンバーにおいても、今後更にDX化を進める為の知識を学生と共に学び、自己成長して頂く事を目的とします。

### 【会員拡大について】

40 最後により魅力あるまちづくりを進めていくには地域に関心を持ち、まちづくりを共に考えるこだま青年会議所の会員数も必要です。この1年出会う人達にこだま青年会議所の活動を知ってもらう事、これが会員増加のきっかけになると考えます。周知活動により、人を集める団体でなく、人が集まる、持続可能な楽しい団体にしていきます。1年間よろしく願いいたします。

### 【事業計画】

- 45
1. 4月例会の開催
  2. 8月例会の開催
  3. 4名の会員拡大をする